

千代田図書館蔵 内田嘉吉文庫 **実務家の本棚から見る近代日本**

千代田図書館＝展示ウォールにて、『千代田図書館蔵 内田嘉吉文庫「実務家の本棚から見る近代日本」』を開催いたします。

内田嘉吉氏（うちだ・かきち、1866～1933）は、通信官僚として日本の海事関係に関する法律の整備などに尽力し、また台湾総督も務め植民地行政に携わりました。後には貴族院議員や私立東京商業学校校長を務め、学校教育・社会教育の分野でも実績を残しました。

千代田図書館の内田嘉吉文庫は、内田氏の蔵書約 16,000 冊を、氏の没後、昭和 9 年に当時の東京市立駿河台図書館（千代田図書館の前身）が受託したもので、外国語図書が 70%以上を占めています。

内田嘉吉が生きた時代は、社会の構造が大きく変化した、まさに日本の転換期でした。欧米諸国に追いつき、日本を活力ある国にしようと国民が必死だった時代に、内田嘉吉は後藤新平や渋沢栄一らと共に、その具体的な実務活動を担いました。そのような時代に、幾度も海外視察や海外勤務をしていた 1 人の実務家は、どのような情報収集を行ったのか、その蔵書から探ります。

千代田図書館蔵 内田嘉吉文庫「実務家の本棚から見る近代日本」

期間：1月27日（火）～3月21日（土）

場所：千代田図書館 9 階＝展示ウォール

<展示資料一例>

(1) 『Nippon』 Philipp Franz Siebold 著 (1897 年)

1832 年－1851 年にかけて 20 分冊で刊行された 初版本へ本文の加除を行った、改定版に類する 2 巻本です。

(2) 『安全第一』 内田嘉吉 (1919 年)

アメリカの事例を紹介しながら、安全第一の大切さなどについて具体的に解説したハンディサイズの本です。随所に挿絵を用い、本文すべての漢字にふりがなが付されるなど、わかりやすさを最優先し、とても実用的に作成されています。

<展示関連イベント>

①「ジャングル探検隊報告会 ～探検隊が内田嘉吉文庫から発掘したもの～」

千代田図書館サポーターズクラブ会員が、閉架書庫をジャングルに見立て、そこから発掘された面白い本や探検のエピソードをお話しします。

日時：2月13日（金）18：00～20：00

場所：九段生涯学習館 3 階＝第 1 学習室

定員：50 名（申込不要、当日先着順）※入場無料

講師：菅谷彰（千代田区立図書館ゼネラルマネージャー）

千代田図書館サポーターズクラブ会員 5 名

共催：神田雑学大学

②「本の変遷 ～原書・翻訳書・復刻書・解説書～」

内田嘉吉文庫の中にある400年前に発行された貴重な原書や、その翻訳書・復刻書などをご覧いただきながら、資料解説をいたします。

日時：3月18日（水）13:30～、14:30～、15:30～、16:30～の4回（各回約30分）

場所：千代田図書館9階＝第1・2研修室

講師：菅谷彰（千代田区立図書館ゼネラルマネージャー）

新谷迪子（シェアード・ビジョン チーフアドバイザー）

本件お問合せ先：千代田図書館 TEL:03-5211-4288 （広報担当：坂巻・米村）